

2016年度国際版画美術館事業報告書【講座・イベント版】

プログラム名	「森羅万象を刻むーデューラーから柄澤齊へ」展関連催事 2016年度第1回プロムナード・コンサート				
演奏者	Duo Iris デュオ・イリス (真野 謡子氏-ヴァイオリン / 後藤 加奈氏-ピアノ)	担当者名	普及係 比留間 清隆		
開催日・時間	2016年5月28日土曜日 1回目13:00～ 2回目15:00～(各回30分程度)		場所	エントランスホール	
参加方法	エントランスホールへ直接来場		参加者対象	展覧会鑑賞者、音楽に興味のある方、その他来館者	
参加者数	実績	収容人数	市民率	応募者数	当選倍率(受講歴による調整を実施)
	のべ268人 (1部:133人 / 2部:135人)	—	—	—	—
事業概要	来館した方が誰でも気軽に楽しめるロビーコンサートとして、2012年度より実施している。今回は、「Duo Iris」によるヴァイオリンとピアノのコンサート。時間は13時と15時からそれぞれ30分程度の2部構成で、今回は両部とも同じ曲目での演奏であった。展示作品を鑑賞しながら、音楽を楽しんでもらうことを目的にしているため、イスは用意していない。その代わりに、階段下にマットを敷いて鑑賞者が座れるよう対応している。1部と2部合わせて、延べ268人の方に鑑賞いただいた。				
ねらい・対象	実技指導	展覧会関連	学校連携	友の会連携	その他
	展覧会鑑賞者に、作品と音楽をともに楽しめる環境を提供し、展示作品への理解を深めることを目指す。また、来館した方が誰でも気軽に楽しめるコンサートを実施することで、開かれた美術館の実現およびピアノの効果的な活用を図る。				
主な収入	入場無料				その他の特定財源
					0 円
事業経費	<p>●予算 20,000円 国際版画美術館イベント事業 > 8報償費 > 展覧会協力謝礼20,000円 ※演奏者一人につき10,000円の謝礼で、それぞれに所得税等の諸経費を含む。</p> <p>●イベント材料費 684円 ＜内訳＞①プログラム印刷用紙(水色上質紙) : 233円 (250部印刷、1枚あたり約0.93円) ②クリップ付鉛筆50本 : 451円 (アンケート記入用)</p> <p>●ピアノ調律費 24,840円 合計:約46千円</p>				
主な広報・取材等	広報 国際版画美術館ホームページ、広報まちだ、展覧会チラシ 取材 なし				
アンケート結果	回収数	回収率	回答した市民率	回答した市外者率	満足度
	93 件	35 %	47 %	53% <small>無記入含む</small>	78 %
	主なご意見	別紙のとおり。			
反省点と改善方法	演者選定	2016年1月、Duo Irisの真野謡子氏(ヴァイオリン)より、コンサート出演の申し出があった。			
	演奏調査	係内で検討し、先方からの出演申し出を承諾。2016年3月に他所開催のDuo Irisによるコンサートを調査した。(会場:サンエール相模原)			
	準備	メールおよび電話にて、先方と演奏曲目の選定や当日配布用プログラム・館内掲示用ポスターのレイアウト等で連絡を取り合う。先方からは広報用の画像およびプロフィールを提供してもらった。			
	広報	アンケートの中に、「もっと広報をした方が良い」との意見があった。実際にアンケートに回答した93名のうち、当館が実施した広報媒体(国際版画美術館ホームページ、広報まちだ、展覧会チラシ)によって当コンサートを知ったという方は35%程度であった。しかし当コンサートはイスを用意していないため、あまりに多くのお客様に来館されるとエントランスに人があふれ会場運営が困難になってしまう。今回のお客様がお客様にとっても、会場運営においても適切であると考え、今後もこれまでと同様な広報で良いと考える。			
	会場設営	展示作品を見ながら、音楽を楽しんでもらう趣旨であるため、イスは用意しなかった。その代わりに、階段下のお客様が多く座られる箇所にはマットを敷いた。1部の演奏が終わった時点でのアンケート用紙に「マイクの声が聞こえない。」との意見があったため、2部ではアンプの音量を上げた。また、アンケートの回収率をあげるため、今回からはプログラムとアンケート用紙のセットにクリップ付鉛筆を添付し、多くの方がアンケートを記入できるよう工夫した。鉛筆にした理由は、展示室内では作品保護のため、シャープペンシルやペンの使用が禁止になっているためである。以上の取り組みの結果、これまでの倍以上のアンケートを回収することができた。			

	備品等手配	イベント開始前までに適切に手配することができた。
	当日進行	1Fエントランスホールおよび2Fロビーに当コンサートのポスターを設置し、イベントの周知を図った。まちだサポーターズ4名にはそれぞれ指定した箇所に分かれていただき、開演中は「プログラム・アンケート用紙の配布」「観覧者の誘導」を、開演の前後では「階段下のマットの設置および撤去」「ピアノの監視」「アンケート用紙の回収」をしていただいた。会場の全体管理、記録用写真撮影は普及係職員が行なった。今回、初めてまちだサポーターズに業務依頼をしたが、こちらの指示通りに動いていただき、円滑にコンサート運営ができた。次回もぜひ依頼したいと考えている。
その他特記事項		当コンサートの趣旨は展示作品を鑑賞しながら音楽を楽しんでいただくことである。そのため、既述のようにコンサート用のイスは設置しておらず、鑑賞者には階段下に敷かれたマットに、あるいは館に常設置しているベンチ、イスに座っていただいている。また、エントランスが吹き抜けの構造をしており、2階からの音響が良いため、来館者を2階へ誘導するよう案内を掲示している。

コンサートの様子



演奏風景



曲間でのマイクを使った説明



ピアノとヴァイオリンの素敵な音色が美術館に響き渡りました。



音が良く響く2階からも多くの方々に鑑賞いただきました。



階段下にマットを敷いて、お客様に座っていただきました。



コンサート中、町サポの方々にプログラムを配布していただきました。

◆◆ プロムナード・コンサート アンケート集計 ◆◆

演奏者：デュオ・イリス（真野 謡子-ヴァイオリン、後藤 加奈-ピアノ）/

開催日：2016年5月28日 / 鑑賞者数：268名 / 回答数：93名

1. このコンサートを何でお知りになりましたか？（複数回答可）

①当館のホームページ 14 ②広報まちだ 11 ③当館企画展のチラシ 8 ④来館して知った 48 ⑤出演者・関係者から聞いて 12
⑥その他 0 無回答 2

2. このコンサートはいかがでしたか？【出演者、プログラム、演奏について】

①とてもよかった 61 ②よかった 27 ③ふつう 6 ④あまりよくなかった 1 ⑤よくなかった 0 無回答 2

3. 会場の環境、雰囲気はいかがでしたか？

①とてもよかった 40 ②よかった 44 ③ふつう 6 ④あまりよくなかった 1 ⑤よくなかった 0 無回答 2

4. 今後、版画美術館で聴いてみたいジャンルはありますか？（複数回答可）

①クラシック 61 ②ジャズ 50 ③その他 8 無回答 5

民族音楽、邦楽、アンサンブル、ポピュラー、マリンバ演奏、ピアノとヴァイオリンのデュオ、

5. お客様ご自身についておきかせください。

【性別】

①男性 38 ②女性 55 無回答 0

【年齢】

①10歳代 0 ②20歳代 6 ③30歳代 6 ④40歳代 18

⑥60歳代 27 ⑦70歳代 14 ⑧80歳代以上 5 ⑨その他 0 無回答 1

【お住まい】

①町田市内 44 ②その他 46 無回答 3

《②その他の内訳》

相模原市(11)、横浜市(8)、川崎市(2)、大和市(2)、鎌倉市(2)、座間市(2)、稲城市(2)、市川市(2)、兵庫県宝塚市(2)、東京(1)、武蔵村山市(1)、東大和市(1)、調布市(1)、世田谷区(1)、台東区(1)、中野区(1)、新宿区(1)、海老名市(1)、小田原市(1)、秦野市(1)、川口市(1)、福島市(1)

感想・意見

【選曲について】

- ◆耳慣れた曲ばかりで心地良く、日々の現実から離れた空間で、一時幸福になれた。
- ◆2Fの展示に言及してヘンデルの曲を入れていたのはとても良かった。
- ◆どの曲もなじみのある曲で良かったと思う。1曲、季節にちなんだ曲を入れても良いかも。
- ◆モンティの「チャルダッシュ」は素晴らしかった。
- ◆「G線上のマリア」は大変良かった。
- ◆2階の企画展とコラボするような曲も考えて展示の事も合わせて紹介して良いかも。

【演奏者について】

- ◆演奏者のほんわかとした雰囲気がとても良かった。
- ◆フレンドリーな音楽家の方々に、人柄が表れているような素敵な音色だった。
- ◆演奏者の仲の良さが伝わり、とても和やかな気持ちになれた。
- ◆演奏者の優しい人柄が伝わってきた。

【広報について】

- ◆広報が足りないのではないかと。多くの人に聴いていただきたい。
- ◆このような企画はもっと広報等でPRするべきだ。
- ◆客が少なく、演奏者が気の毒だ。美術館近辺へのポスターの掲示等でもう少しPRに力を入れていただきたい。

【音響について】

- ◆東博の本館 大階段でのクラシック演奏会も見ただことがあるが、負けていないと思う。
音の響きはこちらの方が素晴らしいと感じた。
- ◆2階へ案内してもらい、音響が良かった。
- ◆会場が石壁のために音が強烈に響く。余り強く弾くと、聴きづらい強弱のない音響になってしまう。
- ◆ヴァイオリンがとてもきれいな音色で素敵だった。

【マイクについて】

- ◆マイクを使つての話が全然聞こえずに、残念だった。

【会場について】

- ◆階段に座って、おしりが痛くなった。
- ◆イスがあればもっと良いと思う。
- ◆演奏している正面の場所がもったいないと思う。
- ◆淡くスポット照明があればなお良かった。
- ◆演奏中、足音をたてて階段をのぼる方がいたのが残念だった。

【コンサート全般について】

- ◆毎回楽しみにしている。今日も大変素晴らしかった。
- ◆良いピアノと素敵な会場、心が洗われるようなコンサートだった。
- ◆思いがけず素敵なコンサートが聴けてラッキーだった。素晴らしい音色に癒された。
- ◆旅先の町田市でこんなに素敵なコンサートが聴けて、良い思い出となった。
- ◆東京文化会館やオペラシティ、サントリーホールでのコンサートに行くことがあるが、そことは違った響きを感じることができ、ヴァイオリンとピアノを間近で聴くことができ本当に良かった。
- ◆素敵な会場で、生演奏、ぜひいたく時間を過ごさせてください。
- ◆子供が小さいとクラシックはなかなか行けないため、本物の音をお子にも聴かせることができ良かった。
- ◆美術品を楽しみながら生演奏を聴くことができ、大変良かった。
- ◆もっと演奏の回数を増やしてほしい。